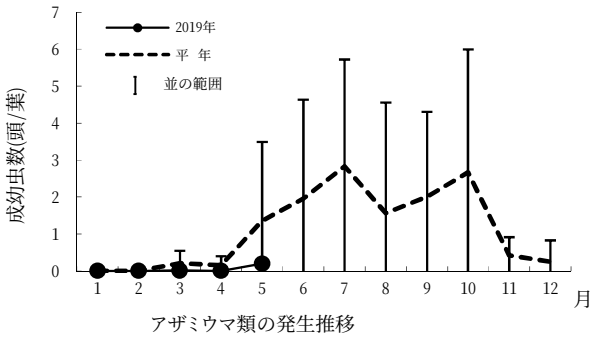
平成　31 年度　　6 月予報

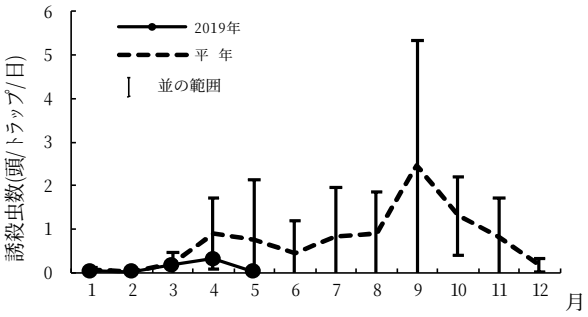
作物	マンゴー	地域	八重山群島
病害虫名	① チャノキイロアザミウマ		
予報	6 月の発生量（平年比）	並	
	5 月からの増減傾向	↗	
予報の根拠	5 月の発生量（平年比）	並	
	その他 (気象要因など)	平年の発生量の推移（↗）	

調査結果

今期と平年の推移

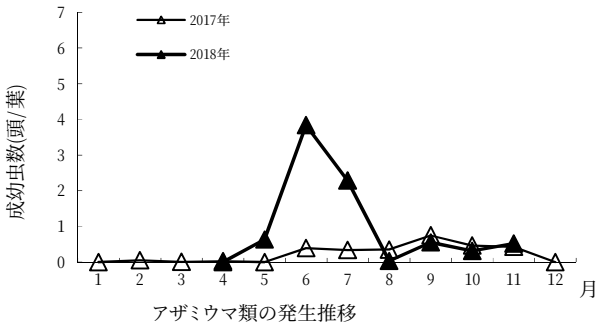


アザミウマ類の発生推移

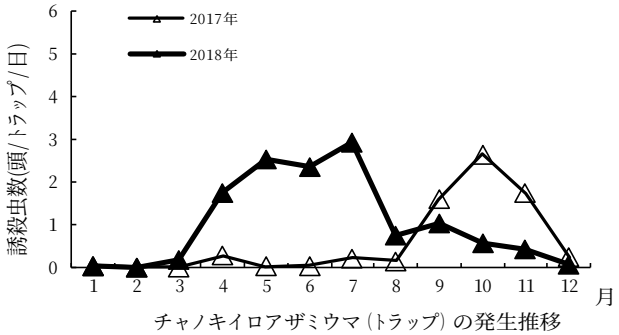


チャノキイロアザミウマ（トラップ）の発生推移

過去2年間の推移



アザミウマ類の発生推移



チャノキイロアザミウマ（トラップ）の発生推移

防除のポイント

・不要な新梢は本種の発生を助長するので、早い時期に除去する。
・多発施設では、収穫終了後に薬剤による防除を行う。
・コミカンソウ類など、発生源となる施設内外の雑草を除去する。
・薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。

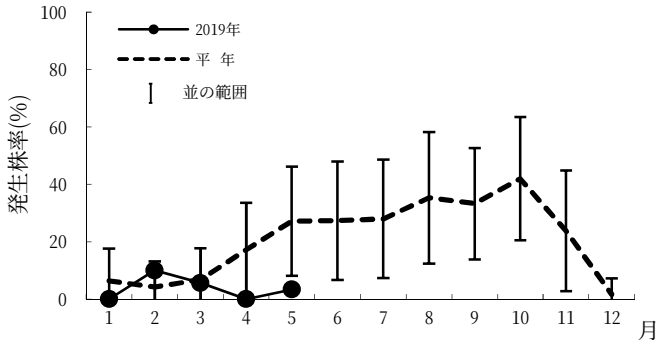
ナガエコミカンソウ

平成　31 年度　　6 月予報

作物	マンゴー		地域	八重山群島
病害虫名	マンゴーハフクレタマバエ			
予報	6 月の発生量（平年比）	やや少		
	5 月からの増減傾向	→		
予報の根拠	5 月の発生量（平年比）	やや少		
	その他 (気象要因など)	平年の発生量の推移（→）		

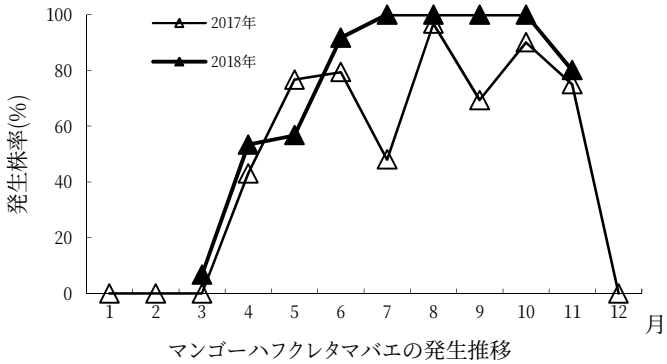
調査結果

今期と平年の推移



マンゴーハフクレタマバエの発生推移

過去2年間の推移



マンゴーハフクレタマバエの発生推移

防除のポイント

・幼虫は、新葉から新梢の軸までの柔らかい組織内に潜行して食害し、成熟すると飛び出し、地面に落下して蛹化する。

・翌年の着果枝となる新梢が加害されると減収につながるため、多発施設では、せん定終了後に薬剤による防除を行う。せん定枝は施設外に処分する。

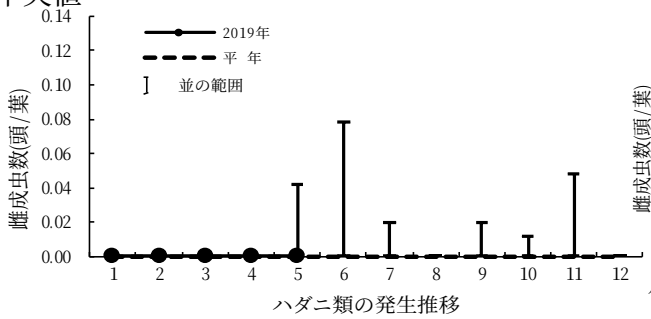
平成　31 年度　　6 月予報

作物	マンゴー	地域	八重山群島
病害虫名	② ハダニ類	シュレイツメハダニ	
予報	6 月の発生量（平年比）	並	
	5 月からの増減傾向	↗	
予報の根拠	5 月の発生量（平年比）	並	
	その他 (気象要因など)	平年の発生量の推移（↗）	

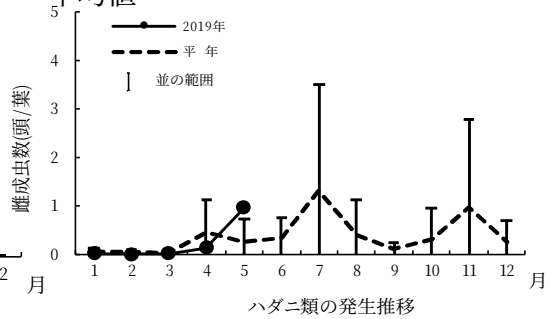
調査結果

今期と平年の推移

中央値



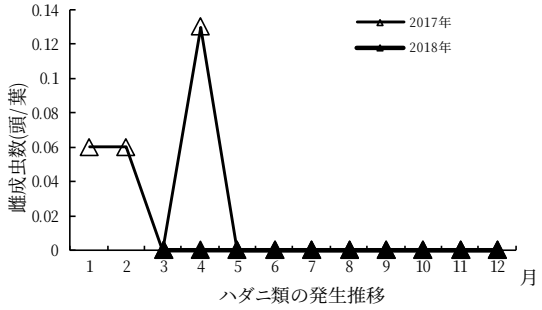
平均値



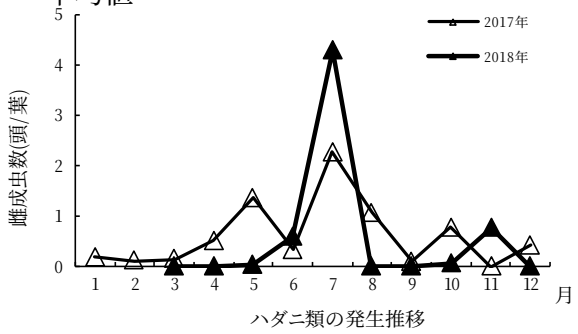
・雌成虫数(頭/成葉)：0.96（前年0.1未満　平年0.25）

過去2年間の推移

中央値



平均値



・一部の調査ほ場で多発生していた。

・発生種：シュレイツメハダニ

防除のポイント

・薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。

ハダニの寄生による葉のかすれ症